

(001)
明治六癸酉年日録

(002)

旧正月十五日ナリ

二月十二日 出福、昼後牧安へ着、泊り

同十三日 同断 此時牧安江宿料不払

同十四日 勝文ニ泊り

〃十五日 牧安ニ泊り、野中小嶋ト同宿

〃十六日 昼後牧本徳太郎同道ニ而夕方帰村、同人泊り

〃十七日 牧本嘉兵衛方へ行、泊り

〃十八日 朝牧本此方へ来り、泊り

〃十九日 朝徳太郎同道、源太郎中角行、源太郎老人夕方帰村

〃廿日 源太郎野中年礼ニ行

同日 多造浅宮行

廿二日 昼時多蔵浅宮へ帰村

同日 昼時過源太郎野中へ帰村

廿日 恵徳寺来泊り、廿一日昼後帰福致ス

廿六日 御合羽屋江亀次郎初而行、自分同道供喜兵衛主従三人恵徳寺江着

三月十四日 昼前 新保教法寺子息三人一騒ニ付見物ニ来り、泊り

十五日 朝飯後引取り

十五日 亀次郎一揆ニ付見廻ニ行候様養父申ニ付来り、泊り

草子式拾刃斗持来ル

十九日 牧本徳太郎昼後來り、泊り

廿日 朝源太郎・牧本同道中角へ行

同日 丸岡おこの来り、昼飯たへ供ト兩人糸崎へ行

廿三日 水戸守同道出福、中馬場久我へ行、恵徳寺ニ水戸守ト兩人

泊り

廿四日 同断、恵徳寺ニ泊り、水戸守ハ朝引取り

廿五日 昼後帰村、留主中祭礼、江上村平九郎来り

廿九日 昼後恵徳寺并前田万吉兩人来り、泊り

三十日 右兩人泊り、前田は式拾刃斗ようかん箱一・あゆのすし二疋二品もらひ

同日 両親月忌勤あみた経ニ巻読誦頼ミ布施五百文致ス、二巻代方江

三十一日 昼後兩人帰福

四月三日 恵徳寺来り、昼後恵徳寺佐太郎同道ニ而

帰福致ス

同五日 恵徳寺へ祐誓迎ニ来り、致談「」出福恵徳寺へ泊り

(003)

六日 恵徳寺ニ滞留 夕方御合羽屋へ行、恵徳寺へ帰り、泊り

- 七日 昼後恵徳寺の帰村
- 八日 昼後三國加藤大輔来り、菓子箱一ツミやけもらひ
同日嘉平へ行泊り
- 九日 昼前来り、そば切致し候、昼後帰湊
- 十二日 野中小嶋見廻二行泊り、菓子箱一ツ持参、小嶋へ見廻
- 十三日 朝飯後野中を出三國加藤へ行、新造同道帰村、鯉節式本
三國加藤へ持行
- 十五日 わし塚嘉右衛門来、酒被吞夕飯被食帰り、拾匁到来
- 十八日 中角学校へ行、夫の森田寺年頭参り寺二而昼飯致し
寺学校根来久良人と咄シ泊り、連月たにさく一根来のもらひ
- 十九日 朝飯後寺を出、上森田勘平へ尋、同人留主、鷺塚
嘉右衛門へ寄、同人留主、はり原八杉へ寄、酒吞昼時帰り
- 廿六日 源次郎まさ□ばぬき自分連行、供多左衛門、幸出福之為知呉候付
多左衛門二被負御合羽屋へ寄中飯致し晩帰村
渡し場迄末迎二来り、よふかん五拾匁御合羽屋へ持行
- 廿七日 御合羽屋江銀拾六貫匁渡、金匁式十両ト式貫札八貫匁受取り替
昼後牧本徳太郎来り、夕飯致し帰り
同島屋彦平供ト式人来り、致夕飯帰り
長板式枚到来
- 廿九日 自分・およき・おひさ・供梅主従四人吉崎参り、新保教法寺
子息二吉崎二而逢同道二而新保へ来り泊り、不火入三升
教法寺へ遣ひ菓子式拾匁、同所家内へ遣ス、昼後二教法
を出三國加藤へ立寄、およき嶋二泊り、跡三人帰村
帰り加戸二而雨二逢晚陰二相成大難渋、加戸茶屋二而
傘かり教法子息共五本かり、代拾匁渡し候
加戸の三國迄人足たのミ其者江からかさ返し候
人足代三拾匁遣ス
- 五月十二日 村まつ滝哉来り、万寿十持来たり、昼後帰泉
- 十四日 恵徳寺の祐誓使二来、手紙持来ル昼飯たべ帰り
- (004)
- 十四日 昼前、安沢新左衛門江よはれ、但新造迎二来り
同道二而行、かつほ二本・三國大万寿三ツ持参、土産遣ス、泊
- 十五日 昼後新左衛門の帰ル、新造・弥十郎送り来り
右兩人江墨老丁ツ、とらせ候
- 十七日 昼前高屋次郎平見へ地割手表(帳)改昼飯たべ帰り
- 同日 中角村土着牧本徳太郎隠居来り、昼飯たへ帰り
- 同日 昼後村松滝哉来り、御合羽屋一件二来り、酒吞帰福
- 廿日 旧曆四月廿二日ニあたり例年祭礼江上雄次郎
平九郎申遣候得共不来

山室采助・高江平右衛門来り、夕飯たへ帰り
采助は手拭老筋持参もらひ平右衛門空手

廿二日 出福、牧安昼飯、昼後合羽屋へ行泊り

廿三日 昼過迄合羽屋ニ滞留、牧安へ帰り惠徳寺へ行
銀催促致牧安へ帰り泊り

廿四日 昼前天弥へ行、昼飯牧安、昼後帰村

廿七日 高江平右衛門蓮根少しもらひ、同人持来呉候

六月六日 惠徳寺来り、昼飯。泊り

七日 惠徳同道三國へ行、定広。舟ニ乗り嶋へ寄り

昼飯致し、惠徳寺ハ唯秤平へ行キ同人江泊り

自分帰村、惠徳寺黒さと半斤土産

持来ル

八日 昼過さ月馬さの十右衛門卜申者。亀次郎・平次郎かり二行

かり来り、一向間ニ不合

九日 昼時馬ニ酒老升付さの江返し二行、亀次郎・喜太郎兩人

引行

十二日 出福、合羽屋へ行昼飯、泊り、菓子式拾五匁持行

十三日 御合羽屋同道青木へ行、道具見天井へ泊り

十四日 朝飯後天井。惠徳寺へ行、惠徳寺ニ泊り

(005)

十五日 昼飯惠徳寺、晩方帰村

十六日 手勢麦打、麦六表内四升五合切有、此歩三百八拾歩

廿二日 錠鷲塚。申懸候一件ニ付昼後多三塚鷲村へ行、帰村

致シ又折返し鷲塚へ行、二度行

廿三日 多三鷲塚へ行、昼寝時帰村、昼後舟橋へ行、但七平同道

廿四日 大安寺開山堂前門払物ニ付見分二行、山室喜之助同道

直ニ帰村

廿六日 鷲塚申分ニ付多三出県、泊り

廿七日 県下ニ多三逗留、泊り

廿八日 夕方多三県下。帰村

七月一日 昼後出福、合羽屋へ行、但鍋文同道福井迄、夜は牧安へ行、泊り

勝文。九ツ時合羽屋へ帰候所表かぎかけた、け共不明ニ付無抛

牧安へ行泊り、其時向そはや江断牧安へ行

同日 朝飯牧安ニ而致シ又合羽屋へ行、昼飯致帰り

同日 銀催促旁惠徳寺へ行、序合羽屋へ白麦式升

黍の粉老升五合遣ス、柳助も合羽屋ニ而中飯致ス

兩人同道ニ而帰村

同日 上の橋高木久方へ行、千代蔵合役之事申ニ付

内分難勤義含のため申二行、羊かん五拾匁持参

七日 久我次郎へも行、ようかん三拾五匁持参
嶋津久来り、泊り

八日 右同人昼後帰ル、初而屋敷免許老件頼談致ス

十三日 出福、御法事ニ付運正寺参詣、御斎頂戴、相済引取り

嶋津久平方へ行、牧安へ帰り泊り、嶋津ニ而何も不飲食

十四日 昼後帰村、源太郎迎ニ来り、此時是迄之牧安私方

皆済

廿日 昼後江上久津美へ行、夫嶋山梨子、浄土寺村辺廻り

皆か内へ立寄帰村

廿一日 出福、弁当持参、嶋津へ行昼弁当遣ひ昼後「」始テ□水へ行

(006)

黒さと式拾五匁持参致ス、夕飯あら川ニ而致ス、嶋津へ帰り泊り

廿二日 朝飯嶋津ニ而たべ嶋津を立出

同日 昼飯牧安へ寄たべぶと酒式合半德利残シ返ス、老拾三匁ト申

しゐら作身少シニ而吞、中飯致シ夕帰村、此時払不致

廿九日 ミの浦吉兵衛江さしきは需メニ源太郎行

かつほぶし老本吉兵衛江持行

卅日 源太郎野中へ行

卅一日 山室吉平西長田与右衛門迄鷺塚庄右衛門嫁尋

しらべニ行くれる

八月七日 源太郎東京出立ニ付吉田直方江行候所間違

少時延引、自分も出福、天井ニ而中飯致候

夫嶋津并ニ吉田直方へ行、委敷相頼ミ

次ニあら川汶水宅方へ行、夕方天井へ帰り

泊り、同日源太郎帰村

八日 朝飯後天井を出、中飯牧安ニ而

牧安ニ而葡萄酒壺合・小鯛トしきやきニ而中飯

夕方天井へ戻り泊り

九日 朝飯後天井、人力車ニ而針原迄、但五拾匁ニ而

はり原迄乗、九左衛門茶屋へ立寄、酒馳走ニ

相成昼寝中帰宅

十八日 丸岡へ行東屋藤八江着、昼飯。泊り林八十郎殿方娘一件尋る

十九日 朝飯致シ東屋を立出、野根江出実盛公之池并宮拝見

致し長崎茶屋ニ而昼飯たべ昼後帰村

廿三日 中学校御用差紙区长。来り、同日不快遅ニ喜平

遣ス

廿五日 出福、学校試験御用仕廻あら川へ立寄牧安へ着、牧安へ帰り中飯致シ酒壺合あゆでんがく一ツ

夕飯村松ニ而たべ

廿六日 朝飯まき安昼飯も同所酒壺合しゐらさしミ少シ・同やき身少

昼寝過帰村

(007)

廿九日 あら川汝水・高野勉・嶋津久平三人来り、昼飯^〇泊り
三十日 昼後酒呑帰福致ス、あら川ミヤけ唐紙五枚 高野

代式拾匁位 小ふろしき一

鹿猪口一

此代式拾匁余り

小しゐら半身是は嶋津ミヤけか如何慥ニ不知

九月一日 旧曆七月十日ニ当り候故自分森田寺永代経ニ参り

鷲塚嘉右衛門へ立寄、酒呑中飯致シ昼寝起後

寺へ参り御経済次第帰村、酒も何も寺^〇不出

嘉右衛門方江小猪口一ツ・もとのナは持参

八月卅一日 平大夫病死、先達而火葬致候様布告有之候所

九月一日 火葬ニ致候

同二日 三右衛門老母病死

同三日 米老升もらひ其上老人よばれ晩又老人よばれ

同日火葬ニ致し申候

九月十七日 森田迄会所江御用ニ付出張高木久出張、戸長

役被仰付

七日 □□平江着、昼飯酒呑払被水戸守江頼置ク

十月七日 大学校教官集会ニ付出席四字比荒川江行、泊り

八日 荒川ニ昼前滞留、昼後四字比荒川を出牧安へ行、夕飯致し

夕飯過^〇谷安へ行泊り

九日 朝飯^〇昼飯迄谷安、三字比出立、山室采助祭礼ニ行

入合少前山室江着、夜分帰村

四日 源太郎も山室采助江前以行居り

十一日 お春小児守并送り男老人来り

廿三日 おひろ・徳蔵・はま送り人下女・下男

右同日夜ニ入芳太郎・藤三郎兩人来り、泊り

十四日古曆 野中小嶋家内・お政・とよ・権七四人来り、泊り

八月廿三日 江上雄次郎・平九郎・山室新平祭ニ来り、晩引取り

浄土寺ミナ・娘兩人祭へ来り、十六日帰り

(008)

十九日 出福、夕飯^〇谷安泊り

廿日 朝早天久我へ行、水戸守不届一義咄し朝飯過谷安^〇帰村

廿六日 浅宮へ行、おひろ帰村ニ付送行、岩堀ニ泊り、土産別長ニ記ス

廿七日 昼寝起^〇区长宿ニ而集会ニ付高木へ行馳走ニナル

右同日夜 遅ニ天井弥助ニ泊ル、天井ニ而酒飯なし

廿八日 天井ニ而朝飯、夫、荒川へ行咄、昼飯あら川ニ而汶水同道ニ而

天弥へ来り同所ニ而志御経上り候ニ付相伴、夕飯致ス

おくれ少しニ而行

同日夜 遅ニ谷安へ行、酒食なしニ泊り

廿九日 谷安ニ而朝飯致シ惠徳寺へ行、酒吞直ニ帰村

十一月三日 昼後高屋村へ行、小学開校、信行寺夜分喜平迎帰村

七日 御本丸ニ而教官集会出席、夫、前田へ行泊り、白清鮎・菓子式拾匁持参

八日 昼飯、前田を出荒川へ寄り嶋津久江立寄り夜食、

ミヤけ式拾五匁

谷安へ来り、泊り

九日 朝飯後谷安へ帰村、同日谷安弘方致シ相済

廿三日 昼後前田彦之助来り、煎餅式拾匁斗持参り

廿四日 前田逗留

廿五日 朝飯過前田帰福

(600)

十一月廿六日夜 山室村与三左衛門初而素読ニ来ル

十二月七日 昼後出福、谷安ニ而わらしぬき御本丸へ出夕方前田江

行き泊り、前田江さと箱一ツ持参

八日 夕飯後遅ニ谷安へ来り、泊り前田ニ而夕食致ス

九日 谷安ニ而朝飯致シ天弥ニ而昼飯、昼過帰村

(010)

新七月十七日 布目村長法寺泊り法話、初而来り